

村の世帯・人口

昭和49年9月末日現在

総世帯数 2,598戸

人 口 11,743人

男 5,941人

女 5,802人

9月の人口移動

出生 28 死亡 5

転入 69 転出 53

婚姻 12 離婚 1



はらに報広

発行所

西原村役場

電話 (098995) 5011

5013・5012

印刷所

桑江印刷所

電話 (098995) 2365

一、村政情報

一、第六回議会定例会終る……………1

一、第七回議会臨時会報告……………1

一、天高く牛豚肥える秋……………2

二、村民の広場

一、全国PTA研究大会に参加して……………3

一、産業公害に渦巻く抗議……………4

一、ハッスルする村青年連合会……………5

一、秋の話題……………5

三、告知板

一、今年の村産業展示会間近……………7

一、申告納税のお知らせ……………7

助け合いの輪を広げましょう

第六回議会定例会終る

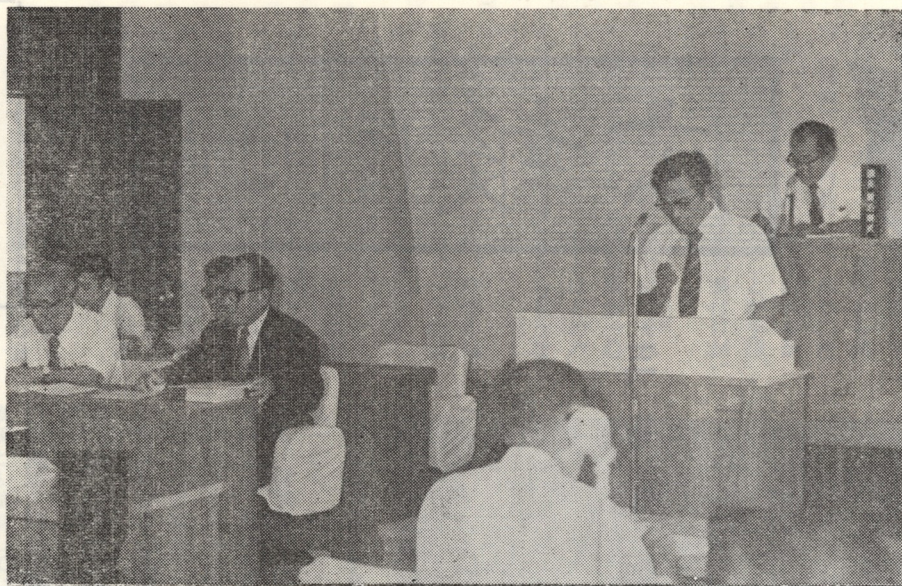
現村議会議員の最後の公務となる第六回議会定例会が、去る九月二十七日、午前十時から議会本会議場で開かれました。

今議会に出された案件は認定一つで、昭和四十八年度西原村水道会計才入才出決算の認定について。

審議の後、提案通り認定されました。

これで四カ年にわたる公務にふんざりがついたと任期を終えることになった議員さんたちは、ホッとした様子。

四カ年間、村の現在、将来を真剣に考え、より良い方向へと推進するための日夜の努力、活発な議会活動本当に御苦労様でした。



議 会

なっています。

今後四カ年の本村の方向と、様々な行政施策を審議決定していくことになった新議員の各氏は、緊張ファイトに満ちあふれ、熱気につつまれた議場ムード。

久しぶりに議場参観者も列席し、いやが上にも緊張した議会ムードとなった。

議会は、まず議長の選出に移り、指名推選の方法で、前議長の親泊輝武氏が全皆一致で選出されました。クジ引きで議席の決定がなされ、その後、副議長選出を行ない。選挙の結果、城間光雄議員が多数を占め選出されました。

昼食の後、一時半から再会され、常任委員会の委員選任、及び委員長選任が行なわれ、次の通り決定されました。(敬称略)

▲総務委員会

委員長：宮平安司、副委員長：大

城盛孝、委員：与儀栄、与那城長助

中山正徳、城間光雄

▲建設産業委員会

委員長：翁長正吉、副委員長：新

垣常夫、委員：比嘉昭幸、新川庸之

小波津亨元、大嶺盛義、稲福勝美。

▲財務厚生委員会

委員長：屋良朝光、副委員長：与

那城勲、宮平宗輔、稲福恭助、新垣

盛光、新城和男。

最後に、与那原町、西原村清掃施設組合議会の議員選出と、村監査委員の選出が行なわれ、次の通り決まりました。(敬称略)

▲与、西清掃施設組合議会議員

屋良朝光、与儀栄、城間光雄。

▲監査委員：稲福恭助

新しい議員による第七回臨時議会は午後四時過ぎに、すべての日程を終え閉会しました。

第七回議会臨時会報告

去る九月三〇日、午前十時から村議会本会議場で、新しく選出された議員による第七回議会臨時会が開か

れました。

新しく選出された議員は二〇名で改選前の十六名より四名、定数増と

天高く牛、豚肥える

秋畜産共進会賑う

年々、地道な振興を上げている村畜産業…。

恒例の畜産共進会が、村主催で去る十月十一日、午前十時から中部製糖第一工場の構内広場で開かれまし

た。
後援は村農業協同組合、村養豚組合、村畜牛組合。

例年行なわれているこの畜産共進会は、村内の畜産農家の所得向上と家畜の改良増殖を図ると共に相互の技術交換と親睦を図り、村内の優秀な豚、牛を一つの会場に集め審査公開し、村畜産農家の意欲と自信を深め、合わせて村畜産振興に役立つことを目的とするものです。

共進会には、豚が二九頭、牛が三十三頭、出品され、各部門で厳しい審査が行なわれました。

厳選なる審査の結果、次の飼主の方々、それぞれ入賞し、来たる十一月に本村で行なわれる郡大会に派遣されることになりました。

〔養豚の部〕

▲経産豚：優等―城間正保（兼久）
一等―泉川寛弘（上原）安座間喜永（森川）二等―石原カメ（森川）安座間喜進（森川）泉川千代（上原）
▲未經産豚（八カ月～十一カ月末満）：優等―安座間喜永（森川）一等―石原昌英（森川）城間正保（兼久）二等―安座間喜進（森川）泉川寛弘（上原）
▲未經産豚（十一カ月～十四カ月）優等―野国昌敏（池田）一等―呉屋幸助（呉屋）二等―呉屋シゲ（呉屋）

▲種雄豚：優等―野国昌敏（池田）一等―呉屋幸助（呉屋）二等―城間正保（兼久）
▲県・村有豚：優等―小波津三郎（小波津）一等―城間正保（兼久）

二等―喜屋武善吉（池田）新垣清太郎（我謝）

〔畜牛の部〕

▲肥育牛去勢：優等―与那嶺栄幸（幸地）

一等―与那嶺正昌（幸地）二等―宮城正勇（小橋川）

▲肥育牛（雌）：優等―野国昌敏（池田）一等―翁長俊雄（幸地）

二等―宮城正雄（小橋川）

▲肥育牛（若牛）：優等―翁長俊雄（幸地）一等―与那嶺英雄（幸地）

二等―与那嶺正一（幸地）仲宗根盛次（幸地）

▲繁殖牛（経産牛）：優等―宮城正雄（小橋川）喜屋武栄一（池田）宮城良市（小橋川）二等―喜屋武善吉（池田）宮城良市（小橋川）

▲繁殖牛（候補）：優等―宇久田朝



にぎわう畜産共進会

秀（池田）一等―喜屋武栄光（池田）宮城正勇（小橋川）二等―喜屋武正光（池田）宮城正雄（小橋川）
▲乳牛：優等―与那嶺次郎（幸地）一等―与那嶺安正（幸地）二等―沢岬徹（幸地）
晴れの県農林水産部長賞は、畜牛の繁殖牛（経産牛）部門で優等に輝いた宇小橋川の宮城正雄さんが獲りました。

なお副賞として、村農協から各部門の優等へのトロフィーの贈呈をはじめホテル東都、琉球協同飼料、沖縄食肉センター、株式会社りゅうどう島中農業共済組合、二葉産業、琉球経農株式会社、その他、もり沢山の景品が贈呈され、畜産農家への激励がなされました。

全国PTA研究大会に参加して

坂田小PTA会長

翁 長 正 昌



去る八月二十三日、二十四日、北中州市において、第二十二

回全国PTA研究大会が開かれ、私も坂田小学校PTA代表として、全国各地から集まった約一万一千余名のPTAと一緒に勉強する機会を持つてまいりました。

この大会は、一、子供達の健全な成長と幸せを実現しよう。一、学習に励み、よい父母、よい教師になろう。一、PTA活動に積極的に参加しよう。一、地域住民と協力し、教育環境の改善につとめよう。等のスローガンのもとに開催されたもの。

参加者が八分科会に別れ、第一分科会が総務財政の問題、第二分科会が成人教育について、第三分科会が厚生について、第四分科会が学校給食について、第五分科会が公害対策について、第六分科会がへき地過疎地域教育について、第七分科会がマスコミ対策について、第八分科会が母親分科会、等それぞれで二日間にわたり分科討議がなされました。

私は第一分科会に所属し、総務財政の現実をふまえ、今後のPTAはどのように活動したらよいか等をテーマとして研究討議してまいりました。

私の分科会では三名の代表者による体験をまず発表してもらい、それを手がかりにして討議を重ねてまいりました。

体験発表の内容は、会員意識の高

揚を図るためのPTAの組織運営はどうあるべきか、又、PTAの予算はどうあるべきか、そして、PTAの役割分担と相互協力はどのように行えばよいか、等々。

真剣な討議の結果、私たちPTAの主体性を確立するには、PTA活動の原点に帰り、PTAが真に子供達の健全な成長と幸福を願うならばPTAも又前進しなければならぬ事が話し合われました。

そのためには、教師と父母がじっくり話し合い、お互いの研修親睦をはかる場として、学級PTAの重要性、PTAに依存している学校運営面の経費を公費負担にしPTAの公費負担の軽減をはかること。PとTが出席しやすい時間の選定等の意見、要望が出されました。

大会二日目は全体会議が、北九州市立総合体育館で開かれました。一万五千人収容の同会場は、その日は満席の盛況ぶり。

昨日の分科会の討議結果の報告、その後全体討議が、選出された議長団を中心に行なわれました。次いで日本PTA全国協議会の活動状況報告、さらには、同協議会の今後の活動のあり方等が真剣に話し合われ、最後に宣言、決議等を万場一致で承認し、二日間にわたる大会の幕を閉じました。

宣言、決議の全文は次の通りです。

この種の大会に初めて参加した私は、いろいろな面で大へん勉強になり、有意義な研修体験をすることができました。

この大会を通して、私は、全国い

たるところのお父さん、お母さん、さらには兄さん、姉さん、みんなが子供たちの幸せのため立ち上がり、「心身共に健康な子」を合い言葉に頑張っていることを目で見、肌で感じさせられました。

私たち西原村のPTAも他府県の活動するPTAに負けずに、先生方と力を合わせ学校、家庭、村民みんなが協力、励まし合って西原村の将来を背負う私たちの子供の幸せのため今後尚一層の充実発展した活動を」と決意を新たにするものです。

決 議

第二十二回全国PTA研究大会は当面する問題について真剣に研究討議を行なった。

その結果、われわれ会員は、自らの姿勢を正し、さらに研修を重ねるとともに、次の事項を関係当局に対し、その早期解決と実現を強く要請する。

記

1. 教育費の大幅増額と公費負担の解消
1. 成人教育活動の積極的推進
1. 災害補償制度の確立と遊び場の確保
1. 学校給食法の改正と国庫補助の増額
1. 交通安全教育の推進と公害諸問題の対策強化
1. へき地、過疎地域の国庫補助率の引上げ
1. 不良マスコミの追放と優良図書テレビ等の積極的活用
1. 婦人リーダー研修の充実とPT

A実践活動への発展
以上決議する。

昭和四十九年八月二十四日

第二十二回全国PTA研究
大会北九州大会

宣言

日本PTA全国協議会は、TPAの主体性を確立するため、第二十二回全国PTA研究大会を北九州市において開催した。

全国各地からの代表二一、〇〇〇余名は、英知を結集して、われわれが長年積み重ねたPTA活動の成果をふまえ、今後取り組むべき姿について、二日間にわたり、活発な研究討議を展開した。



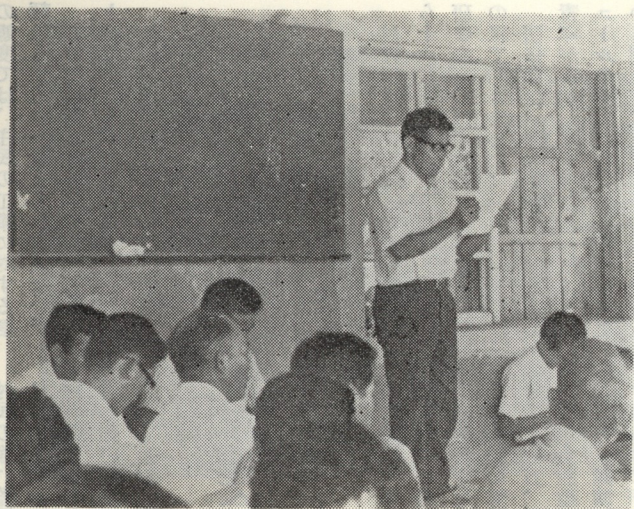
産業公害に渦巻く抗議

ひんぱんに行なわれる開発行為に都市計画上、あるいは安全対策上の面から、たびたび村民の要請が行なわれている矢先き、字小波津内で数中の、字小波津団地の工事現場付近

で小波津住民がズサンな安全対策の犠牲となり字民はもとより、村民の批難の聲が高まっている。
いさましい事故が起きたのは、去る九月二十五日で、事故に会った方は小波津一九八番地の呉屋盛一さん、三〇才。

事故現場は亡くなられた盛一さんの家から北方約百メートルの所で前日から降り出していた雨で付近一帯は大洪水の状態だった。

盛一さんの家付近も水びたしで、その水はけを少しでも良くしようと、シヨベ



抗議文を読み上げる。玉那覇区長

ルで水の流れを変えようと足の不自由さをおして出かけ、この惨事に会ったもの。

事故現場は、巾三メートル、深さ二メートルの、大きな穴になっており、前日からの雨で水がいっぱい、とても危険な状態。

それにもかかわらず何の安全対策もなされていなかった。

前々から村当局からも安全対策を充分にやるよう要請されていたにもかかわらず、何らの対策もなされていない施工者にする難の聲は、それだけに相当大きなものがある。

小波津区民は、事故から二日目の九月二十七日、午後二時から、同字の公民館で、南洋土建と県住宅供給公社への抗議集会を開いた。

集会には宮平村長を初め、区民七〇余名、公社側からは業務担当理事新垣徳助、南洋土建(株)側から、社長代理、国頭正雄が出席し、予定より一時近くも遅れて始められた。

まず玉那覇亀助区長が怒りをこめて抗議文を朗読し、県住宅供給公社と南洋土建に手渡した。

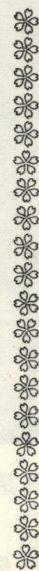
その後に宮平村長から、村当局から、あれ程安全対策を万全にやるよう要請したにもかかわらず、何らの対策もなされることなく、今回のいたましい事故となったことに対し、工事施工者側に全く誠意がなく安全管理のズサンさ怠慢さが原因、と厳しく批難追求された。

区民を代表し立った小波津享亮議員も、安全対策のズサンさ、工事施工の遅滞、それに伴う区民の被害、迷惑等の続出を指摘し、五項目にわたる追求を「即答せよ」と強い態度でせまった。

県住宅公社、南洋土建側は、安全対策のズサンさ怠慢を認め、すぐ対策の手を打つといい、被害補償も検討し充分やるとの弁。

しかし、工事現場での工事にとともに被害について住民から何度もなされていたにもかかわらず、上部の責任者は、「初めて聞きました」と

の態度では、住民の工事に對する信賴はうすらぐ一途としか言えない。この種の産業公害が再び起こることがないよう、村当局はもとより、



村民の強い監視の眼と、開発施行者に対する厳しい義務付けが痛感され村当局としても今後、同様の問題に對し強い態度で臨む考えである。

ハッスルする村青年連合会

久びさのリーダー研修会

村青年連合会は去る九月十四日から十六日まで二泊三日の、リーダー研修会を、渡嘉敷島にある国立青年の家で開きました。

研修には、六カ字から二〇余名の青年が参加し、ゆったりとしたスケジュールの中で、今日青年がかかえている問題が、気軽に語られ今後に大きなステップ台になるものと期待されます。

この研修会の目的は 現在の字村における青年会の活動がどうかを分析する中から、今後の青年会活動は、どうあるべきかを考え、そこから、リーダーとしての素養と知

識の修得、今後どのようにされるべきかを考えることにあります。

研修の主な内容は ①現在の村青年会活動の状況分析及び討論 ②組織の在り方、運営の仕方 ③今後の青年会活動の在り方 ④青年に望むこと(講演)、そして ⑤フォーカダンスの研修 ⑥キャンプファイヤー ⑦カヌーによる海洋講習、等々、変化に富みかつ内容ゆたかな研修が行なわれました。

最後の日には小川教育長も、かけつけて来られ、「青年に望むこと」と題して講演をされ、「必ずみんなの時代が来るから、その日のために

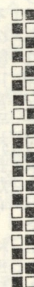
も青年時代にやるべきこと、やりたいことを主体的かつ積極的に悔いのないよう頑張つて欲しい」と研修生への力強い励ましの弁を送られました。

村青年会が一九七一年に再建されて以来、初めてのリーダー研修会だけに、喜納会長も、その意義の大きさを強調していた。

▲西中への奉仕作業
次いで、村青年会では、九月二十三日、日曜日午前九時から西原中学校の環境整備のためと奉仕作業を行いました。

奉仕作業には七カ字から二〇名近くの青年が参加。

チリが積つて山となったチリ焼却場の大掃除、及び校内にある木麻黄の抜採等、夕方の六時近くまで奉仕作業を行いました。



(秋)の話題

秋は、スポーツの…。読書の…。

食欲の……。恋愛の……。ものわびしくなる……。と色々と人々の口にはぼる人気の高い季節です。

暑くもなく、寒くもない。生活するのに快適な条件をよく満たしうるために、秋は誰れからも愛し親しまれるのでしょう。

多様な忙しい秋で、スポーツの秋を二題程……。

去る十月六日、西原中学校運動会。元気に恵まれ盛況。

この運動会は、特活保健体育の総合的な発表の機会として位置づけられ、生徒の自発的活動、競技会を企画し運営する能力等を養うことがネライ。

学友間の友情を深めることはもとより、PTA、あるいは地域社会に学校をより深く理解してもらうことも意図されております。

そういう訳けで運動会は生徒たち自らが運営する陸上競技大会的なものとなりめぐまれた炎天下のもと非



すがすがしい朝の空気をすって、1、2、3……………



新ハサミ飛びのX君、お見事



それ、棒倒しだぞ！（西中）

常に活気にあふれたものとなった。
 集団的な協力を育成する意味での競遊の千変万化、騎馬戦、綱引、棒倒し等、変化に富んだ内容で、最後まで父兄、参観者が一体となって楽しい運動会でした。
 一方、十月九日には、西原村立にしはら保育所の第二回運動会が行なわれ、秋晴れのもとチビッ子たちは走ったり、歌ったり、転ろんだり、食べたり……大奮闘。
 運営の都合上（？）保護者の参観はなし、とチョット寂しいかな……と思われたが、運動会気分を出そうとその日は給食なしで、それぞれお母さんの手作りの弁当持参。
 園長や先生方の話しでは、「弁当、弁当」と……いかにも弁当時間が待ちどおしいと朝から大ハシヤギだったとのこと。
 その日園児たちは、かけっこ、と障害物競争、ダンス「マイム、マイム」玉入れ、とかいろいろ競技で



さあ、みんなで、おどりましょう

一日楽しくすごしました。
 それでも、やっぱりチビッ子たち

が一番楽しかったのは、お母さんの味にする弁当時間だったそうだ。

告 知 板

今年の村産業展示会間近

村主催、村農協、村普及事業連絡

十時となっています。

協議会、村花卉同好会協力の、昭和四十九年度の産業展示会が、村産業課を中心に着々と準備されておりま

す。
主催の村当局は、この例年行なわれる産業展示会に、多くの村民が出品、参加して、農産業の技術の交流、普及等が高められたら……と広く参加呼びかけをやっております。

期日は十一月三〇日から十二月一日の二日間

出品についての規格は別図の通り

場所は村役場ホール

です。

出品物は農産物、農産加工品、手工芸品、花卉盆栽等で、搬入は農産物が十一月三〇日、午前十時から、農産物以外が十一月二十九日、午前

詳しいことについては、村産業課にお問い合わせ下さい。電話……五〇一―五〇一三へ……。

申告納税のお知らせ

中告所得税の第二期分納期限は十一月一日から十一月三〇日までです。

期限内にお忘れなく、近くの郵便局または銀行にお納め下さい。

十一月三〇日を過ぎますと、延滞税が加算され非常に不利になります。

なお、納税には振替納税を利用されると大変便利です。振替納税を希望される方は、近くの銀行、または税務署へお申し込み下さい。

なお、税務署では、いつでも納税の相談に応じておりますので、お気軽にお聞き下さい。

沖縄国税事務所税務署

出 品 物 規 格 表

規 格	種 目
36×36×5	チシャ、人参(葉柄を50cm以上つける) ニンニク、パパヤ、ニガウリ、トマト、サヤ豆、ピーマン、サトイモ水イモジャガイモ、ネギ、ホウレンソ草、春菊
30×60×5	美濃早生大根、ゴボウ、葉柄を5cm以上つけること。
45×45×10	島大根、葉柄を5cm以上をつけること。 結球白菜 いも(3つる)、トウガ、セロリー、山イモ、キャベツ 注、農産物は溶器のいづれ出品すること。
加 工 類	つけ物、つくだに、みそ、その他 容器はガラスビン(フタ共ガラス)500g入れに限る。
装 飽 類	ハンドバッグ、オモチャ、額類、その他
手 芸 類	衣 類
花 卉 盆 栽	花ばちにして樹種はすべて選別しない。

